

令和5年度 第4回国立大学法人静岡大学長選考・監察会議議事録

日 時 令和5年9月27日（水）15時57分～17時49分
場 所 事務局4階学長応接室
出席者 大石、栗村、鈴木、望月、金原、田中、山本、福田の各委員
陪席者 鈴木、河島の各監事、佐藤事務局長、依藤総務部次長
事務局 杉山総務課長、杉山総務課副課長

I 前回議事録等の確認

令和5年度第2回（令和5年6月28日開催）議事録（案）、発言録、まとめ（案）及び令和5年度第3回（令和5年7月7日開催）議事録（案）、発言録、及びまとめ（案）について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1 学長の業績評価（中間評価）について

議長から、資料1により、評価結果（案）及び評価結果〔評価概要〕（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

議長から、本日、承認された業績評価については、議長より学長に評価結果を通知したうえで、大学公式ウェブサイトにて評価結果〔評価概要〕を公表することの説明があった。

また、議長から、評価結果の事前確認において、委員から、委員の多様な評価を反映するため、現在の5段階評価の見直しについて意見があったことの報告があった。

2 学長選考・監察会議委員数について

事務局から、資料2により、学長選考・監察会議から教育研究評議員会評議員への意見照会結果について報告があり、種々意見交換を行った。

議長から、これまでの議論や評議員への意見照会結果を踏まえ、会議の委員数改正の可否については、来年度実施予定の学長選考を行ったうえで、令和6年度内に判断する案について提案があり、審議の結果、これを承認した。

3 意向投票の位置づけ、名称等について

事務局から、資料3により、学長選考・監察会議から教育研究評議員会評議員への意見照会結果について報告があり、種々意見交換を行った。

議長から、まず、意向投票の位置づけ及び候補者の選択方法については、これまでの議論や評議員への意見照会結果を踏まえ、学長に相応しい者の中から2名以内を選択する方法とする案について提案があり、審議の結果、これを承認した。

次に、意向投票の名称については、ガバナンスに対する教職員の意識を高めるためにも「意向投票」の名称がふさわしい、オンライン投票の導入とあわせて検討すべきである、などの意見があり、「意向投票」の名称は変更しないことを確

認した。

オンライン投票の導入については、匿名性の担保や二重投票の防止などの諸条件を満たすシステムの導入が可能であるか検討を進め、今年度内に意向投票の実施方法を決定することを確認した。

Ⅲ その他（意見交換）

1 学長適任候補者及び推薦人の活動について

事務局から、資料4により、学長適任候補者及び推薦人の活動について、前回学長選考を踏まえての課題とされた理由及び前回学長選考時の状況等の説明があった。種々意見交換を行った結果、前回同様、推薦を求める公示の中で、留意事項として良識ある行動を求める一文を付すこととし、新たに指針を設けるなどの制限は行わないことの結論を得た。

2 抱負等発表会の実施方法について

事務局から、資料5及び参考資料により、抱負等発表会における、前回学長選考を踏まえての課題とされた理由及び前回学長選考時の抱負等発表会の実施状況、問題点の説明があり、種々意見交換を行った。委員からは、抱負等発表会の円滑な実施のための様々な方策について意見が出され、本件については、引き続き検討していくこととした。

以上